

8 月 21 日に、当館にて白鳥の贈呈式を行いました。

1971 年以降、国際会議等の開催の地である当館のシンボルとして、日本庭園にて白鳥の飼育を続けてきましたが、2016 年 12 月末に先代の白鳥が亡くなって以降、1 年半以上に亘り当館では白鳥が不在となっていました。

白鳥を当館の池に戻したいと考えていたところ、宇部市ときわ動物園において下関響灘ライオンズクラブ様所有の白鳥が飼育されていることがわかり、同動物園の宮下園長を通じて、同クラブに相談しました。その結果、下関響灘ライオンズクラブ様から当館へ、2 羽の白鳥をありがたく寄贈いただけることになったものです。

贈呈式は、下関響灘ライオンズクラブ様より小野倉様と弘中様、宇部市ときわ動物園様より宮下園長、そして、受入れに際してご協力いただいた京都市動物園の坂本副園長及び当館の木下前館長のご列席のもとで行われました。

下関響灘ライオンズクラブ様から寄贈いただいた白鳥（雄 1 羽、雌 1 羽）は、8 月 1 日の朝に宇部市ときわ動物園を出発し、午後に当館に到着しました。長旅にもかかわらず、当館庭園の池に放鳥されるやいなや、番で元気に泳ぎ始めました。

これからは、この 2 羽の白鳥が、ご来館の皆様をお迎えします。



贈呈式①



贈呈式②



寄贈頂いた白鳥